

# 行政視察報告書

令和7年7月17日

長浜市議会議長 高山 亨 様

長浜市議会議員

鬼頭 明男

私が出席した次の行政視察の結果について報告します。

## 記

1. 視察等名 令和7年度議会運営委員会行政視察研修
2. 視察期間 令和7年7月3日(木)～7月4日(金)
3. 視察場所及び目的
  - ①静岡県富士市  
議会改革の取組について(議会における事業評価等)
  - ②埼玉県所沢市  
議会改革の取組について(議会評価、議員間討議、政策研究審議会等)
4. 調査内容感想等
  - ・視察の目的

---

富士市からは議会における事業評価の手法を、所沢市からは議会評価、議員間討議、政策研究審議会の運営について学び、長浜市議会における議論の活性化、政策立案能力の向上、そして市民の方への説明責任を果たすための具体的な方策を学び、これらの知見を活かし、長浜市議会がより開かれた、政策立案型の議会へと目指すことを目的とし、先進地でもある2市を視察しました。

---

- ・視察内容

---

●静岡県富士市 議会改革の取組について(議会における事業評価等)

---

長 浜 市 議 会

◆評価の方法

① 6月定例会会期中に対象事業を選定。

② 9月定例会で決算審査と合わせ評価を行う。

※対象事業の選定から評価までの具体的な協議は各分科会で行っている。

◆評価の対象

○一般・特別会計は主に予算小事業

○企業会計は主に事務事業(事業を細分化したのもでも可)

◆効果

○ひとりの議員の意見や要望ではなく議員の総意として当局に提出しているため、改善や見直しを求めたものは反映されやすい。

○議案審議で行われにくい議員間での討議を行う場となっている。

○議会報告会において、報告内容に取り上げやすく市民にも関心を持ってもらえる。

○当局にとっても視点を換え自分たちの事業を見直す場となっている。

◆課題

○一般会計において市の小事業は約1000あるが、内部管理的なものも多く、14年目を迎え評価対象事業の選定に苦労している。既に3回選定した事業もある。

○企業会計は事務事業が少ないため、一般会計以上に評価対象事業の選定に苦労している。選定をしなかった年もある。

○議員は事業を推進したいことが多いため、拡充や予算の増を求める意見が出やすい。(コロナ禍以降の5年は大幅な見直しや縮小、廃止を検討する事業を選定することとした。)

○評価の作成に当たっては議員の合意を重視しているため、平均値をとる発想になり評価が真ん中に寄る傾向がある。

・行政視察の結果を本市にどのように反映させるか

今回の行政視察を通じ、市議会が市の事業や政策の評価を行う重要性を再認識しました。市民の利益を最優先に考え、税金の適切な利用やリソース配分を検討する役割は不可欠です。しかし、予算増を求める意見が多く、平均化や中央集中化が真の改善策を妨げる懸念もあります。定量的データに基づく客観的評価基準の設定や市民参加の促進、評価結果の透明化が課題です。これらを克服し、事業評価を活性化させるために、今後の議会で具体策を検討していくことが重要だと感じました。

・視察内容

●埼玉県所沢市

議会改革の取組について（議会評価、議員間討議、政策研究審議会等）

◆所沢市議会は、平成21年3月の議会基本条例施行以降、市民の期待に応える議会運営を目指し、各種取り組みを実施してきました。平成25年4月1日から、実効性を高めるための評価基準を定め、議会評価を実施しています。本報告書は、議会運営委員長および広聴広報委員長が担当した事業について自己評価を行い、その結果をまとめたもので、今後の改革につなげる目的があります。評価対象期間は令和6年4月から令和7年3月までで、議会運営委員会所管の「通年会期制の整備」や「ペーパーレス会議システム導入」、広聴広報委員会所管の「市議会だよりの発行」や「本会議映像のインターネット中継」、議会報告会の開催等が含まれます。また、所沢市議会基本条例に基づく評価も行います。

○議会事情評価表『市議会だよりの発行』について、①背景と経緯、②内容（市議会だよりの配布部数の推移・会議録検索システム及び市議会ホームページへのアクセス件数(1月~12月)、④今後の方向性及び評価（世帯数の増加により前年度と比較して市議会だよりの配布部数は増加しており、多くの市民に市議会の活動をお知らせすることができている。また、会麴線索システムや市議会ホームページの市議会だよりにへのアクセス数も増加傾向であり、市議会ホームページ全体のアクセス件数に関しては、前年と比較して約8万2千件も増加しており、市議会が発信する情報への関心が高まっていると考える。今後も市民に

親しまれ、読んで役立つ広報紙を目指し、紙面の充実に努めていく。

○議会事情評価表『議会報告会の開催』については、議会を身近に感じてもらい、市民の意見を市政に反映させるため平成 22 年度から開催。令和 6 年度は初の試みとして、若い世代の意見を聞くため、市内高校生を対象に開催した。

報告会では、定例会の報告に加え、「所沢市を魅力あるまちにするには」というテーマで議員と高校生がグループディスカッションを実施。活発な意見交換が行われ、参加者から好評を得た。選挙権年齢の引き下げを受け、若年層へのアプローチとして、今後も同様の取り組みを継続し、子どもたちが地域への関心と愛着を育むような機会を提供していく。※『みみ丸カフェ・高校生との意見交換会（とこ高カフェ、とこにしカフェを開催）

・行政視察の結果を本市にどのように反映させるか

長浜市議会も意見交換会などを行っていますが、所沢市議会の視察を通じて、議会事業評価の取り組みの重要性を再認識しました。「市議会だよりの自己評価」が議会の透明性向上に寄与していることや、市民への情報発信の充実が参加意識を高めるポイントであると実感しました。特に、高校生を対象にした議会報告会は、若年層の政治参加を促進するために非常に重要です。グループディスカッションを通じて意見交換を行うことで、高校生の地域への関心を育む取り組みとして評価されます。これらの経験を本市市議会に反映させるため、若年層のニーズに応じた報告会の形式を検討し、継続的な開催を行うことが大切です。今後、議会の透明性や市民の参加をさらに重視し、コミュニケーションの充実を図ることが重要だと感じました。